

令和2年 理事長挨拶

はじめに

昨年度上半期は「平成から令和元年の幕開け、市議会・県議会・参議院の選挙、働き方改革を推進するための年5日の年次有給休暇取得計画表の作成、10月の消費税増税に伴う介護職員を中心とした介護職員等特定処遇改善計画書の提出等」これら実務の対応で大変な半年でしたが、滞りなく処理できてホッとしているところです。一方、9月・10月の台風15号ならびに19号により、広汎な地域で甚大な被害が発生し、いまなお多くの方が不自由な生活を余儀なくされております。

そして、12月からの新型コロナウイルス感染拡大、令和2年4月7日に発せられた緊急事態宣言は5月末まで延長される事態となっています。介護に従事する職員及びその家族、利用者のご家族や施設周辺住民の方々にも不安が広がっており、実務的にどのように対処すべきか苦慮するところです。

高齢者介護施設は、感染症に対する抵抗力が弱い高齢者等が、集団で生活する場です。このため、高齢者介護施設は集団感染の発生や、感染拡大（重症化、死者発生）しやすい状況であることを認識し、施設での初動対応（患者の早期発見と隔離、面会制限・禁止など）や職員の危機管理意識、衛生意識、コンプライアンス意識を高め、安全対策や厳格な感染予防対策が求められます。

職員は高い衛生意識を持って、マニュアルの通りに手抜きすることなく、日常的に継続して、感染予防対策を推進、徹底していききたいものです。

令和2年

社会福祉法人はまなす会

理事長 泉 正 樹